

総務厚生常任委員会

置賜全体で連携 定住を促進

6月7日に委員会が開催され、「定住自立圏形成協定」について説明を受けた。

生活機能を確保し定住へ

【定住自立圏の概要】

市町村が相互に役割分担し連携・協力することにより、必要な生活機能を確保する。

【圏域形成の手續ぎ】

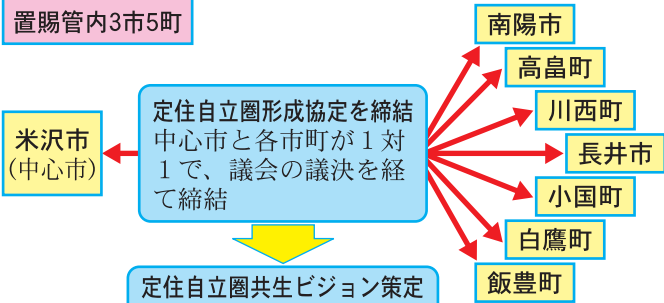
中心市の米沢市と、各市町がそれぞれ1対1で協定を締結する。

【連携する取り組み】

医療、交通、広域観光、米沢牛の振興など、14項目について取り組む予定。

今後、定住自立圏共生ビジョンを策定し、31年4月から事業を実施する予定。

置賜管内3市5町



定住自立圏形成協定を締結
中心市と各市町が1対1で、議会の議決を経て締結

定住自立圏共生ビジョン策定
将来像、具体的取組を記載

事業実施 (平成31年4月から)

町の負担増にならない連携を。

質疑

【財政支援】
中心市の米沢市には年間8500万円程度、その他の市町には、それぞれ1500万円を上限として特別交付税が措置される。

【質疑】
具体的な事業内容は委員どのような事業を想定しているのか。
【当局】公立置賜総合病院への交通網の確保、米沢道の駅での情報発信、米沢牛の振興等について連携して進めていくことを、先行して議論している。

建物が完成、8月オープンへ

「日本の紅(あか)をつくる町推進拠点施設整備事業の状況」について説明を受け、現地を調査した。

紅花振興と地域の活性化へ

【施設整備の目的】

紅花や加工品の生産拡大、交流人口の増加、十王地区の活性化など。
(※施設は十王地区コミュニティセンターを兼ねる。)

【施設概要】

場所は、山狭体育館斜め隣り。木造平屋建て。

【事業費】

2億8542万円
(29年度分の整備事業費)

【今後の予定】

・外構工事 (30年7月未まで)
・オープン式典 (30年8月5日の予定)



【使用木材】
町産材：75%
国産材：24%
外国産材：0.4%



紅花生産日本一のPRのための施設に

質疑

【質疑】指定管理業務はどうなる

【委員】他のコミセンと違う業務をするのか。
【当局】施設が大きくなる分、指定管理料は若干増える。
事業面では、十王地区の中で取り組むものと、町と連携して取り組むものの両方が出てくる。

紅花体験観光施設としての利用推進を。

その他
○平成31年度白鷹町重要事業要望
○愛真こども園新園舎
○有限会社ケイエスしらたかの経営状況
について説明があった。